



協同組合はよりよい世界を築きます

IYC2025ニュース第11号

2025年6月6日発行

2025国際協同組合年全国実行委員会 <https://www.japan.coop/iy2025/>

事務局 一般社団法人 日本協同組合連携機構

東京都新宿区市谷船河原町11番地 飯田橋レインボービル5階

E-mail: iyc2025@japan.coop TEL: 03-6280-7254

【contents】

- ① 7月5日(土)「見て、聞いて、体験 協同組合フェスティバル」のご案内(第2報)
- ② “協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会
第4回「SDGsと協同組合」シンポジウムのご案内
- ③ “協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会
第5回「防災・減災・生活再建と地域づくりへの貢献」シンポジウムのご案内
- ④ “協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会
第2回「協同組合とディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)」シンポジウムの動画をアップしました
- ⑤ 全国各地の2025国際協同組合年の取り組み

①7月5日(土)「見て、聞いて、体験 協同組合フェスティバル」のご案内(第2報)



2025
国際協同組合年
協同組合はよりよい世界を築きます

見て
聞いて
体験

協同組合 フェスティバル

入場無料

2025年 7月 5日(土) 10:00-16:00 (予定)

東京国際フォーラム / ホールE2

7月第1土曜日は国際協同組合デー。協同組合のことをお知らせする記念イベント開催です!

 SDGsと協同組合を未来世代に伝える **スペシャルゲスト**

たかまつななの「笑って学ぶSDGs」

カードゲームで遊びながら世界のことを考えよう!



QuizKnock・東言の「クイズで発見!協同組合のヒミツ」

「協同組合って?」
むずかしいことを、やさしく、面白く!



各種体験コーナー!

- 林業体験 ● 健康チェック
- SDGs投票 ● 食農クイズ
- 防災クイズ ● 地震ザブトン
- 自転車交通安全 など



人気の JA 農産物直売所が有楽町に!



フードドライブにご協力!

フードドライブとは、家庭で食べる予定のない食品を提供いただき、フードバンクを通して困難家庭や施設などで活用する活動です。

お米、および賞味期限まで2ヶ月以上ある未開封で常温保存の可能な食品の寄贈をお願いします。

詳しくは / [フードバンクかながわ](#) 



協同組合の仲間が勢ぞろい!

キャラクター大集合

楽しく学べる **SDGs スタンプラリー**

● エコバッグ、保冷バッグ等をご持参ください。
 ● 東京国際フォーラムには無料給水施設があります。ぜひマイボトルをご持参ください。
 ● 企画内容は変更になることがあります。 ● 配布・販売する物は数に限りがあることをご了承ください。

会場 東京国際フォーラム 東京都千代田区丸の内3-5-1 **JR地下鉄** 有楽町線 最寄り

主催 2025国際協同組合年全国実行委員会 後援 内閣府 外務省 厚生労働省 農林水産省(予定)

お問い合わせ 一般社団法人 日本協同組合連携機構 電話 03-6280-7200 [協同組合フェスティバル](#) 




わくわくステージプログラム

企画内容は変更になることがあります

10:10ころ オープニングセレモニー

協同組合キャラクターが勢ぞろい 見て、さわって、写真を撮って!

Dr.ナダレンジャー 防災科学実験ショー

ガンバレ! 介助犬! JA共済はたらくワンワンランド!



ナダレンジャー



国産食品/社会福祉法人
日本介助犬協会

12:00ころ



未来のイノベーター! 学生ビジネスプランコンテストJUMP入賞者が
社会課題解決を目指す起業プランを発表



「SDGs QUESTみらい甲子園」受賞高校生チームが
持続可能な社会に向けてSDGsアクションアイデアを発表

14:00ころ

スペシャルゲスト

笑下村塾代表・たかまつななの「笑って学ぶSDGs」

15:15ころ

スペシャルゲスト

QuizKnock・東言の「クイズで発見! 協同組合のヒミツ」

ブース出展予定

内容は変更になる場合があります

人気のJA農産物直売所

JAきみつ 味楽園(みらい)	JAきみつ管内農家が心を込めて育てた旬の農産物や加工品を安心安全にお届けします
JAとうかつ中央 さいてって	「さいてって」は、農家と消費者をつなぐ地産地消の拠点として、地域の輪を広げます
JA東京中央 ファーマーズマーケット	東京都豊田地区 杉並区・中野区で採れた新鮮な野菜と旬の花を販売します
JA東京中央会 江戸東京野菜	江戸・東京の野菜文化を継承する、多様な江戸東京野菜を紹介・販売します
JAセレサ川崎 セレサモス宮前店	元気いっぱいかわさき青 農家が自信をもって育てたこだわりの野菜をお楽しみください

大村湾漁業協同組合	「島なまこ石鯛、ワイルドベイク」体験会! ナマコの焼酎/ワイバーン試飲ください
コープデリグループ	コープデリのSDGs投資で未来が変わる?! 限定オリジナルグッズGET
生協パルシステム	くらしの課題を解決できたパルシステムの「協同の力」を体験 個別型インスタレーション
東都生活協同組合	産地直結ひとすじ東都生協の取り組みを、見て、食べて、遊んで、体験できます
ユーコープ	リサイクルセンターで生産した「みんなのきくび」にチャレンジしよう
フードバンクかながわ	家庭に届く食品を支援ください! 国産農産物の支援や廃棄などで活用させていただきます
日本農産物流通協会	「農」と「福」がつながり、日本各地で生まれた農産物流通品をご紹介します
「協同の縁」プロジェクト	私たちは、みなさまとのご縁とともに地域課題の解決に協同で取り組めます
岩手県宮古市かけあしの会	多くの生協の皆さんに支援いただいています。三陸の美味しさと活動をお知らせします
賀川豊彦記念松沢資料館	2025年国際協同組合年に向けて、賀川豊彦の実績を伝えます
日本協同組合学会	日本は協同組合の研究が最も盛んな国のひとつです。その成果をご覧ください
AgVenture Lab	AgVenture Labが支援するフードロス削減型スタートアップの紹介とJAサイネージの展示
JA共済総合研究所	「あふれる笑顔が訪れる長生き歩き」その秘訣をお教えます

JA全中	クイズで発見! 日本の食と農のいま。「国産国産」で、食の未来を考えよう!
日本生活協同組合連合会	日本生協連が全国の生協とともに取り組む社会的取り組みについて紹介します
JForest 全国森林組合連合会	今、森林がアツい! あなたも森林の魅力を感じてみませんか?
ワーカーズコープ連合会	ワーカーズのモノづくりへのこだわり、素材や製造方法、そしてそこで働くようこび
こくみん共済 coop	自然災害から命と暮らしを守るため、楽しく学べる防災コンテンツを体験してみませんか?
ろうきん(労金協会)	協同組織の金融機関である(ろうきん)を(見て聞いて)知ってください
JA全農	美味しい国産農産物をJAタウン(産地直送通販サイト)・ニコボエール商品でお届け
JA共済連	「サブタン」教養の防災教育を通じて、過去の大震災の教訓を継承体験してください
家の光協会	協同組合や、料理、園芸、健康、趣味等に関する書籍を販売します
日本農業新聞	全国の優れた加工品を集めた「一村一品大賞」受賞食品を集めたマルシェを開催します
農協観光	生産から販売まで一気通貫した農産物産地をご紹介。野菜の産地も行きます
大学生協	学生と保護者のためのサポート事業や、学生の取り組みをご紹介します
医療福祉生協連	視力・反射神経の測定やビロビロを使ったゲームで健康づくりを体験しよう!
コープ共済連	CO-OP共済とコープ共済連の事業をご紹介します
信用金庫(全信協)	信用金庫は協同組織の金融機関! アンケート調査で伊藤沙弥さんグッズを手に入れよう
全国信用組合中央協会	知ったら好きになる あなたの町の「信用組合」を体験しよう(持てぬかな? 1億円)
生活クラブ連合会	生活クラブ×日農 重臣部長は大学生!? 生産者との協同を伝える産学連携プロジェクト
共栄火災海上保険	自動車シミュレーター 自動車に乗って危険を体験、安全な運転ルールを学びます
ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン	ワーカーズのモノづくりへのこだわり、素材や製造方法、そしてそこで働くようこび
IYC2025全国実行委員会	そもそも「IYC2025って?」そんな疑問にお答えします 体験 グッズ紹介も

同時開催 シンポジウム (ホールD1にて)

10:30 ~ / SDGsと協同組合 ~実践状況、達成への課題と期待~
13:30 ~ / 持続可能な暮らしのために先人から学び、未来へつなぐ
~協同組合の父 賀川豊彦と SDGs~

事前申し込み
オンライン配信あり



- こちらの記事はフライヤーとして活用いただけます。
トンボなしのデータダウンロードはこちらから
https://www.japan.coop/wp/wp-content/uploads/2025/06/coopfes_flyer.pdf
トンボありのデータダウンロードはこちらから
https://www.japan.coop/wp/wp-content/uploads/2025/06/coopfes_flyer_tonbo.pdf
- イベントロゴデータ、広報用案内文はこちらをご活用ください。
<https://www.japan.coop/wp/19001>
- 協同組合フェスティバルの最新情報はこちらからご覧ください。
<https://www.japan.coop/iyc2025/coopfes.php>



② “協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会 第4回「SDGsと協同組合」シンポジウムのご案内

2025国際協同組合年の取り組みの一つとして、連続シンポジウム・座談会 第4回「SDGsと協同組合」を、「見て、聞いて、体験 協同組合フェスティバル」において、下記のとおり二部構成で開催いたします。

つきましては、会場参加、WEB参加、オンデマンド配信を希望される方は、下記申込フォームよりお申し込みをお願いいたします。

1. 本企画の趣旨・ねらい

SDGsのゴールである2030年まで5年を切った今、世界および日本におけるSDGs達成状況を概観し、達成が厳しい状況において、SDGsにかかる状況を共有したうえで、国際協同組合年の背景にもなっている協同組合の事業・活動を通じた貢献の再確認とこれからの課題を明らかにするとともに、協同組合運動をはじめ様々な社会運動を進めた賀川豊彦の実績から今後に向けた示唆を得ることをねらいにシンポジウムを二部構成で開催いたします。

2. 概要

	第1部	第2部
テーマ	「SDGs と協同組合～実践状況、達成への課題と期待」	「持続可能な暮らしのために、先人から学び、未来へつなぐ ～協同組合の父 賀川豊彦と SDGs～」
日時	7月5日(土)10:30～12:15	7月5日(土)13:30～15:00
場所	東京国際フォーラム ホールD1 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 (アクセス https://www.t-i-forum.co.jp/access/access/)	
開催形式	会場参加 + WEB参加併催（ハイブリッド）*後日オンデマンド配信を予定	

3. プログラム（予定）

（1）第一部

開会挨拶・趣旨説明

報告：①「SDGsの全体状況について」（仮）

慶應義塾大学大学院・政策メディア学部修士 落合航一郎様

②「SDGs、市民社会組織と協同組合について」（仮）

一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク共同代表理事・恵泉女学園大学
名誉教授 大橋正明様

③「日本における社会福祉の現状と協同組合への期待について」（仮）

社会福祉法人全国社会福祉協議会会長 村木厚子様（オンライン）

④「SDGsと協同組合について」（仮）

一般社団法人日本協同組合連携機構代表理事専務 比嘉政浩

登壇者によるパネルディスカッション

閉会挨拶・まとめ

司会：一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク事務局長 新田英理子様

（2）第二部

開会挨拶・趣旨説明

報告：①「SDGs先駆者としての賀川豊彦について」（仮）および「賀川豊彦と北欧
について」（仮）

公益財団法人賀川事業団雲柱社理事長・賀川豊彦記念松沢資料館館長
石部公男様

②「北欧福祉社会と協同組合について」（仮）

大阪大学大学院人間科学研究科教授 斉藤弥生様

③「生活クラブにおける「ローカルSDGsの取組み」とデンマークからの学
びについて」（仮）

生活クラブ事業連合生活協同組合連合会顧問 伊藤由理子様

登壇者によるパネルディスカッション

閉会挨拶・まとめ

司会：一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク業務執行理事 星野智子様

4. 申込方法

下記申込フォームよりお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S394138226/>

申込締切：会場参加・・・6月26日（木）

WEB参加・オンデマンド配信・・・7月1日（火）



5. お問い合わせ先

日本協同組合連携機構（JCA）

担当：北澤 03-6280-7289 k-kitazawa@japan.coop

池田 03-6280-7396 s-ikeda@japan.coop

③ “協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会 第5回「防災・減災・生活再建と地域づくりへの貢献」シンポジウムのご案内

2025国際協同組合年の取り組みの一つとして、連続シンポジウム・座談会「防災・減災・生活再建と地域づくりへの貢献」を下記のとおり開催いたします。

つきましては、会場参加、WEB参加、オンデマンド配信を希望される方は、下記申込フォームよりお申し込みをお願い申し上げます。

1. 本企画の趣旨・ねらい

さまざまな自然災害はいつでもどこでも起こり得るものであり、災害が激甚化・頻発化する中、事前の防災・減災、そして被災後の生活再建のための備えの重要性は増すばかりです。

国や自治体はさまざまな取り組みを進めていますが、地域や職場の人々の相互扶助の組織である協同組合への期待も高まっています。

防災・減災、そして復旧・復興を社会全体でどのように進めるべきかについて学び、“災害に強い（レジリエントな）地域づくり”について論議するとともに、協同組合が事業・活動を通じてどのように貢献しているのか、そして今後いっそう貢献していくための課題を明らかにするシンポジウムを開催します。

2. 概要

日時：2025年7月14日（月）14:00～16:30（13:30開場）

場所：主婦会館プラザエフ 9階スズラン 東京都千代田区六番町15番地（アクセス）

JR四ツ谷駅麴町口徒歩1分・東京メトロ丸ノ内線四ツ谷駅1番出口徒歩3分

開催形式：会場参加 + WEB参加併催(ハイブリッド)*後日オンデマンド配信を予定

3. プログラム（予定）

開会挨拶・趣旨説明

講演：①「自助・共助・公助の総和を最大化する共生・共助のあり方」

東京大学教授 加藤孝明様

②「被災者支援の現場から見えてきたこと」

特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

(JVOAD)事務局長 明城徹也様

事例報告：①コープいしかわ 執行役員 能登復興推進室マネジャー 佐々木智一様

②コープ共済連 常務執行役員 前田かおり様

③こくみん共済coop 常務執行役員 坂本隆浩様

④JA共済連 常務理事 森哲弥様

登壇者によるパネルディスカッション

閉会挨拶・まとめ

4. 申込方法

下記申し込みフォームよりお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S9357051/>

申込締切：会場参加・・・7月7日（月）

WEB参加・オンデマンド配信・・・7月10日（木）



5. お問い合わせ先

日本協同組合連携機構（JCA）IYCプロジェクトチーム

担当：丹後 03-6280-7275 s-tango@japan.coop

藤田 03-6280-7214 c-fujita@japan.coop

④ “協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会 第2回「協同組合とディーセント・ワーク(働きがいのある 人間らしい仕事)」シンポジウムの動画をアップしました

“協同”がよりよい世界を築く～連続シンポジウム・座談会の第2回として、2025年5月15日（木）に開催した「協同組合とディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」シンポジウムの動画を公式YouTubeにて公開いたしました。

<https://youtu.be/bMF4cRfJNiI?si=AivvJavNBfR868om>



開催報告は以下のページにて公開しております。

<https://www.japan.coop/wp/18933>



⑤全国各地の2025国際協同組合年の取り組み

● 静岡県実行委員会がIYC2025について情報発信～特設ウェブサイト開設・メッセージ動画配信・ポスター制作～

IYC2025静岡県実行委員会では、特設ウェブサイトを開設し、実行委員長からのメッセージ動画を配信するとともに、ポスターの制作も行いました。

これらの取り組みは、IYC2025の意義や協同組合の社会的役割と価値への理解を深めるとともに、組合員や地域住民に協同組合への理解・共感を広げるための広報活動の一環です。

鈴木実行委員長（JA静岡中央会代表理事会長）のメッセージ動画では、国連が協同組合に寄せる期待やSDGsと協同組合との関わり、静岡県での今後の活動への思いが語られています。全国の協同組合関係者の皆さんにぜひご覧いただきたい内容です。

こうしたメッセージを広く発信するため、特設ウェブサイトでは、IYC2025の概要や静岡県の取り組みを随時発信していきます。

また、ポスターは静岡県内の各協同組合の施設や県行政施設、県内教育機関で掲示し、地域の組合員や住民への周知にも取り組んでいます。

2025国際協同組合年静岡県実行委員会 特設ウェブサイト

<https://group.ja-shizuoka.or.jp/coop-year/>

2025国際協同組合年静岡県実行委員会 メッセージ動画

<https://youtu.be/fWlaMltfowI>



2025国際協同組合年静岡県実行委員会 ポスター

● 「協同組合を考える集い」(岐阜県)で講演しました

岐阜県協同組合間提携推進協議会※は、2025年5月15日(木)、岐阜市「ぎふメディアコスモス」で、「協同組合を考える集い」を開催しました。当日は、県内の協同組合組織から約120人が参加しました。



「協同組合を考える集い」の受付に展示された協同組合やIYCの解説、国連のグテーレス事務総長のメッセージ等のタペストリー

※岐阜県協同組合間提携推進協議会（岐阜提携協）は、県生協連、JA岐阜中央会、JA全農岐阜、県酪連の4団体で構成する協同組合連携組織。

冒頭の「座長あいさつ・課題提起」では、岐阜提携協の会長である李侖美(イ・ユンミ)・岐阜大学准教授から、「岐阜県の協同組合間提携活動」と題し、以下の6項目について触れられました。

- ①岐阜県の協同組合提携活動の歩み
- ②「協同組合間提携覚書」（1992年）による連携組織のスタート
- ③協議会構成組織の概要
- ④これまでの提携活動
- ⑤岐阜大学への出講
- ⑥「協同組合宣言」（1997年）の採択による協同組合理念と方向性の再確認



李侖美(イ・ユンミ)岐阜大学准教授

締めくくりには、「協同組合どうしの連携強化によって、課題にさらに効率よく応え、対応力を高めることができる。これからも、つながりを大切にしていきたい」とのアドバイスをいただきました。

次に、「提携各組織及びその会員組織の事業紹介」として、県生協連、JA全農岐阜、JA岐阜中央会から事業紹介がありました。

最後に、「地域における協同組合の可能性」と題する講演が日本協同組合連携機構（JCA）横溝部長より行われ、つぎの3つの報告がありました。

①2025国際協同組合年

ア.「国連総会決議にて2025年を国際協同組合年（IYC）」と宣言されたこと

イ.「協同組合の振興」「法律・規制環境協同組合の設立と成長に資するものとする」と

「SDGs実現における協同組合の貢献の認知向上」を国連から求められていること

②IYC2025全国実行委員会の活動計画

ア.実行委員会が掲げた4つの活動目標

イ.国会決議および協同組合フェスティバル

③県域での取り組み

ア.県域での取り組み状況（茨城県：協同組合クイズキャンペーン、北海道：さっぽろ雪まつり会場でのカレーパン販売のギネス世界記録挑戦など）

イ.県域への行動提起（学び、実践し、発信する）

ウ.なぜ、連携が必要なのか



国際協同組合年の講演（JCA横溝部長）